受入企業からのメッセージ

企業プロフィール
● 業種：介護 ● 従業員数：約200名 ● 受入人材：技能実習、特定技能、介護ビザ

不安だったけど、将来のために始めた

“外国人採用は難しそう”というイメージがあり、最初はかなり迷いました。ただ“これから先も人材を確保できる会社にしておきたい”と思ったのがきっかけです。
海外との取引も少しずつ増えてきていたため“技術を理解し、英語でも説明できる人材が育ったら強いのでは”と思い、フィリピン人材の受入れを決めました。制度や手続きは最初は複雑に感じましたが“まずはやってみる”ことで少しずつ理解できました。

外国人材の受け入れをきっかけに、職場全体が明るくなりました

受け入れ前は、言葉や文化の違いから、うまく仕事を教えられるのか不安がありました。しかし、実際に一緒に働いてみると、とても素直で仕事にも熱心。分からないことを積極的に学ぼうとする姿勢が、周りの日本人社員にも良い刺激になっています。教える側も、仕事の進め方やルールを改めて見直すようになり、社内のコミュニケーションも以前より丁寧になりました。今では欠かせない仲間として活躍してくれています。
ARCH plusさんには、受け入れ前の準備から入社後の面談、生活面の相談まで丁寧に対応していただけるので、安心して受け入れを続けられています。

今では現場に欠かせない存在

現場からは「一生懸命頑張ってくれている」という声も多く、技術面でも優秀な人材が採用できたと感じています。
明るく素直で、周囲を見ながら自然に手伝ってくれるスタッフも多く、職場の雰囲気も前向きになりました。
また、英語でコミュニケーションが取れるため、海外のお客様への説明などでも今後活躍してくれそうだと感じています。“外国人スタッフ”としてではなく“同じ職場の仲間”として受け入れることが大切だと実感しています。

他社と比べて、「劣る」と感じた企業はゼロ



他社サービス利用経験のある企業様のうち、90%が「他社よりARCH plusの方が優れている」と回答。

受け入れてみたら、「想定より問題は少なかった」



- 自動車整備工場：言葉の壁を心配していましたが、想像以上に日本語が上手で驚きました。
- 板金工場：嫌な顔ひとつせず頑張ってくれる姿に、職場全体が良い意味で奮起させられました。
- 介護施設：利用者さんへの接し方が丁寧で、職員の良い刺激になっています。

問題があったとしても、「メリットが課題を上回る」



問題を経験した企業様のうち、77.8%が「課題よりも導入メリットの方が大きかった」と回答。

導入事例

CASE 01 自動車整備工場「応募ゼロ」から、即戦力の獲得へ

導入前の課題	ARCH plusの支援
求人を出しても応募が来ない 整備士の高齢化が進行 受注を断らざるを得ない状況	フィリピンで車検制度を学んだ人材を紹介 入国前に日本語・技術教育を実施 配属後も月1回訪問でフォロー

成果
●配属直後から即戦力として活躍
●受注体制を維持・拡大 ●職場の雰囲気も活性化

フィリピンで車検制度を学んできてくれたことで、即戦力として活躍してくれています。

CASE 02 介護施設 配属2ヶ月で、頼られる存在に

導入前の課題	ARCH plusの支援
慢性的な人員不足で職員が疲弊 夜勤シフトが組めない 採用してもすぐ辞めてしまう	介護教育を受けた人材を入国前から育成 2名担当制で職場定着を支援 生活面も専属通訳がサポート

成果
●配属2ヶ月で職員・利用者双方から信頼
●シフトに余裕が生まれ残業減 ●長期就労を前提に活躍中

配属からわずか2ヶ月で、職員・利用者双方から頼られる存在になってくれました。



よくいただくご質問

Q 日本語はどのくらい通じますか?

入国前に自社日本語学校で集中教育を行うため、配属時から日常会話・業務指示のやり取りが可能です。配属後の継続教育コースもご用意しています。

Q 手続きが大変そうで不安です...

ビザ・在留資格の申請から書類準備まで、ARCH plusがすべて代行します。貴社にお願いするのは契約書の確認・押印など最小限の対応のみです。

Q 相談からどのくらいで来日しますか?

制度や人数により異なりますが、目安は4~5ヶ月です。その間の教育・手続きはすべて弊社が進捗管理し、レポートでご報告します。

Q 初めての外国人採用でも大丈夫?

導入企業様の多くが「初めて」からのスタートです。受け入れ前のオリエンテーションから配属後の月1回訪問まで、2名担当制で伴走します。

ARCH plus 協同組合
ARCH plus 株式会社

ずっと採用したい人材との出会い
ずっと働きたい会社との出会い
フィリピン人材事業のプロフェッショナル

事業内容：特定技能外国人の斡旋および支援事業／技能実習生の斡旋
有料職業紹介事業／技術、人文知識、国際業務ビザ人材の紹介
通訳、翻訳事業／フィリピン人雇用に関するコンサルティング
教育事業

許認可：登録支援機関(20登-005352)
有料職業紹介事業(23-ユ-302449)
一般監理団体 (許1806000316)

本社 〒466-0064 愛知県名古屋市昭和区鶴舞2丁目17番地17 鶴舞ベルビル4階　徳島営業所　千葉営業所

● 今すぐお電話ください!
(受付時間 9:00-18:00)
TEL 052-870-5076

● ホームページ問い合わせ
(24時間年中無休)
https://arch-plus.co.jp/
HP

フィリピン人材事業のプロフェッショナル ARCH plus(アーチプラス)

フィリピン人材雇用

スターターガイド

外国人材の雇用をお考えの企業の皆様へ
フィリピン人材をご紹介します!



こんなお悩み・ご不安ありませんか?

- 外国人雇用 何から始めたらいいかわからない…
- 採用までの流れや手続きがわからない…
- 採用できても定着しない不安が残る…

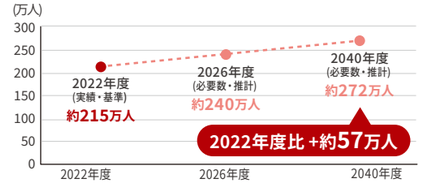
フィリピン人材の雇用をご検討ください。

人材確保への対応が重要です。

2040年までに
労働力人口
約57万人(13.3%)不足の見込み

※高齢者・女性の労働参加率が変わらないとした場合

介護職員数の実績と将来の必要数



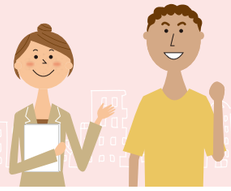
出典:厚生労働省「第9期介護保険事業計画に基づく介護職員の必要数について」(2024年7月)
※2022年度の約215万人は実績値、2026年度・2040年度は介護サービス見込み量等に基づく都道府県の推計値です。グラフの中間部分は模式的に表示しており、各年度の必要数を示すものではありません。



外国人雇用が選択肢の1つとして注目されています。

ARCH plus 協同組合
ARCH plus 株式会社

ARCH plusのフィリピン人材の特色
～豊富な若手人材・英語力・定着志向～



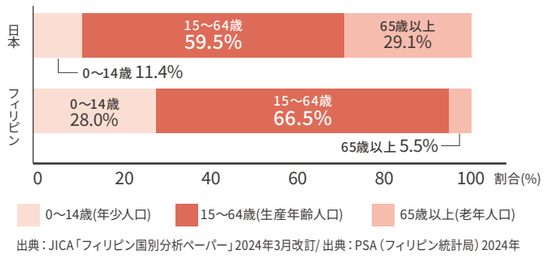
01.豊富な若手人材



平均年齢 **24.5歳**

フィリピンの総人口は、約1億1,000万人（2024年）で国連の人口予測では今後30年以上増加を続けるとされています。また、年齢中央値は24.5歳で、日本（約49歳）の半分であり、生産年齢人口（15～64歳）が全人口の60%以上を占めています。豊富な若い人材が世界中で活躍しています。

フィリピンと日本の人口割合比較



出典：JICA「フィリピン国別分析ペーパー」2024年3月改訂/ 出典：PSA（フィリピン統計局）2024年

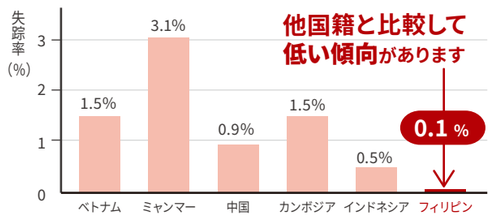
02.定着につながる仕組み

定着率90%以上。採用後のフォローこそ、ARCH plusの出番です。人材をご紹介して終わりではありません。
外国人材一人ひとりの仕事や生活に寄り添い、企業との間に立って継続的にサポート。定期的な面談や日本語教育、悩みやトラブルへの早期対応を通じて、小さなすれ違いが大きな問題になる前に解決します。
外国人材が安心して働き、企業にも「長く一緒に働きたい」と思っていただける関係づくり。それが、ARCH plusの高い定着率につながっています。



圧倒的 **定着率**

国籍別技能実習生の失踪率（2024年）



出典：出入国在留管理庁「技能実習生の失踪者数の推移（2024）」

03.フィリピンはアジアで唯一介護の国家資格がある

フィリピンでは、政府機関TESDAによる介護分野の技能認定制度が整備され、専門知識や技術を学ぶ環境が整っています。また、日本で働くことを目指す人材向けに、日本語や日本文化を学ぶ研修も実施されています。人と人との関わりを大切にする介護の仕事において、専門性に加え、日本の職場や生活への適応を目指すフィリピン人材は、介護施設の人材確保を支える選択肢の一つです。

04.フィリピン・日本両国で日本語学校を運営し入国前から教育をサポート

ARCH plusは、フィリピンと日本の両国で日本語教育を行っています。入国前から日本語の基礎や日本の文化・働き方を学び、入国後も一人ひとりのレベルや職場環境に合わせて継続的にサポート。「言葉が伝わらない」「職場のルールが理解できない」といったすれ違いを減らし、外国人材が安心して長く活躍できる環境をつくります。採用・教育・就業後の支援まで一貫して担えることが、ARCH plusの高い定着率を支えています。

言語 研修 センター GENGO KENSHŪ CENTER　フィリピン　日本　SACHI International School

05.英語力 EF EPI アジア第2位（2025年）

公用語が英語であり、国民の約95%以上が英語での会話が可能です。
EF EPI英語能力指数では、アジア第2位で、英語でのコミュニケーションが取りやすい傾向があります。その高い英語力を生かして、海外取引や海外の顧客対応など企業のグローバル展開への貢献も期待されています。

出典：EF英語能力指数（EF EPI）2025



英語力 アジア **第2位**

フィリピン人材について
専用ページで
ご案内しています。
詳しくはこちら

フィリピン政府の管理・保護体制
～定着につながる仕組み～



フィリピン人材の受入れ制度を知るための5つのキーワード

移住労働者省［DMW］	●海外で働くフィリピン人労働者（OFW）の権利保護を担う政府機関 ●送出機関の審査や制度改正・規制等を所管	
移住労働者事務所［MWO］	●DMW/在日フィリピン大使館の出先機関 ●東京(東日本管轄)と大阪(西日本管轄)に設置	●管轄は企業所在地/勤務地で判断される ●OFWの雇用契約前に日本企業の雇用条件等を審査
在留資格認定証明書［COE］	●OFWの活動内容が在留資格に該当するかなど入国条件に適合することを証明する書類	●雇用契約後、企業が出入国在留管理庁に申請 ●有効期間は発行日から3か月間
出国前オリエンテーション［PDOS］	●OFWが出国前に必須で受講する ●未受講の場合出国が認められない	●日本の生活ルール・権利保護制度・相談窓口等が情報提供される
海外雇用許可証［OEC］	●OFWの出国許可証(フィリピン政府発行) ●フィリピン出国時に提示を求められる	●有効期間は発行日から60日間 ●一時帰国後、日本への再出国時に更新・再取得が必要

フィリピン人材の受入れに向けたロードマップ〔フィリピンから新たに受入れる場合 ※技能実習（育成就労）を除く〕

